

# 認知症予防ドック

軽度認知障害（MCI : Mild Cognitive Impairment）  
のリスクを調べて、認知症の予防と改善につなげましょう。

**軽**度認知障害とは、健常者と認知症の中間の段階を指します。軽度認知障害の人は、日常生活に支障はありませんが、そのまま経過すると約5年でその半数以上が認知症に進行すると言われていています。最近の研究では、軽度認知障害の段階で適切な予防や治療を行えば、認知症の発症を防ぐことや遅らせることができるとうわかってきています。



## <認知症予防ドックと脳ドックの違い>

- 認知症予防ドック  
アルツハイマー型認知症を代表とした認知症の予防や早期発見に重点をおいたコースです。
- 脳ドック  
脳卒中、脳動脈瘤といった脳血管障害や生活習慣病と心血管障害の早期発見に重点をおいたコースです。

**料金 58,300円（税込）**




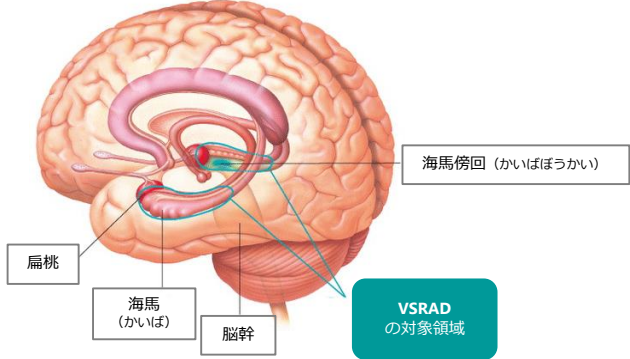
※消費税10%税込みです



### ◆お申込み・お問合せ先◆

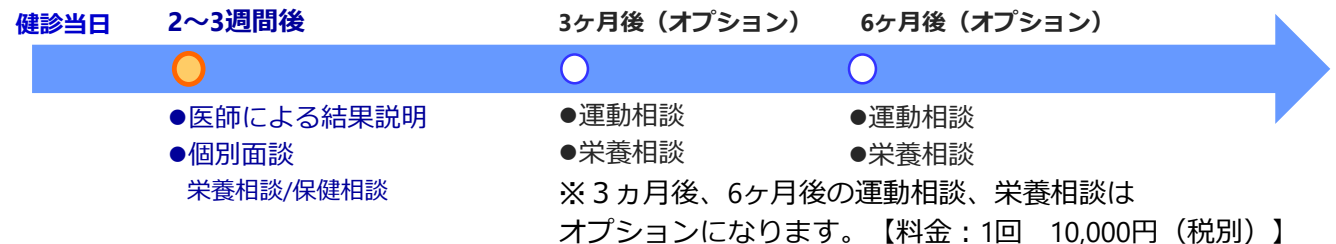
電話：043-486-0006 受付時間：平日8時30分～17時  
聖隷佐倉市民病院 健診センター  
〒285-8765 千葉県佐倉市江原台2丁目36番2

# MCIのリスクを調べて認知症の予防と改善につなげましょう

	MCI健診検査項目	どんな検査？
採血検査  	<b>MCIスクリーニング検査</b>	アルツハイマー病は、アミロイドベータという老廃物が脳に蓄積し、神経細胞を破壊することで発症します。この検査では、アミロイドベータを排除する機能を持つ血液中の3つのタンパク質を調べることでMCIのリスクを判定します。
	<b>ビタミンB1・ビタミンB12・葉酸</b>	各種ビタミンの量をはかります。これらの4種類のビタミンが欠乏すると様々な神経症状が現れてきます。
	<b>TSH・FT3・FT4</b>	甲状腺の状態を調べます。甲状腺ホルモンが欠乏すると認知機能障害、うつ状態、種々の身体症状が現れてきます。
神経心理学的検査  	<b>MoCA-J</b> (モントリオール認知評価検査)	MCIのスクリーニング検査として国際的に普及している検査です。認知機能（注意機能、集中力、実行機能、記憶、言語、視空間認知、概念的思考、計算、見当識）について、約10分という短い時間で評価することができます。合計で30点満点、26点以上が健常範囲とされています。
脳・MRI検査  	<b>VSRAD (ブイエスラド)</b> (Voxel-based Specific Regional analysis system for Alzheimer's Diseaseの略)	MRIを用いて、海馬傍回付近における脳の萎縮の度合いを検査するものです。アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症では、海馬傍回付近の萎縮が最も早期にみられます。 ※海馬傍回とは、記憶の形成・保持・再生をつかさどる領域です。  

- ▶ MCIスクリーニング検査の結果が出るまでに2~3週間かかります。
- ▶ 結果説明は医師が行います。

## 認知症予防ドック後は、専門スタッフがあなたの運動&食事をサポートします



### <保健相談：保健師・看護師>

- ・ロコモ度テスト (問診、実技2種目)
- ・認知症になりにくい生活習慣のご紹介

ロコモ度テストイメージ



### <栄養相談：管理栄養士>

- ・栄養診断システムを用いた栄養状態の評価・判定
- ・認知症予防に効果的な食事の紹介 (食事環境や生活スタイルに合わせた食事方法の提案)

※ロコモ：ロコモティブシンドロームの略で運動機能症候群のこと。